

2021年
10月号

ニュースレター

Anger



障害児通所支援事業者連絡会が立ち上がり...

朝晩は涼しくなりましたが、10月というのに30度近い日が続いています。緊急事態宣言が明け、自粛していた子ども達もAngerを利用するようになり、ようやく全員揃って活動を楽しんでいます。

豊中市の障害児通所事業所（放課後等デイサービス・児童発達支援）は現在65事業所あり、大阪府内の政令指定都市を除くと3番目に多い市になります。昨年度は通所事業所の連絡会が豊中市子ども相談課のご尽力のお陰で立ち上がり、質の向上と横の繋がりを目的に今年度は分科会も含め7つの研修を予定しています。近隣の市で、連絡会としてたくさんの研修をしているところはそれほど多くありません。9月は和歌山大学の米澤先生をお呼びして「愛着障害の支援と理解」の研修を行いました。この研修ではこども学び育ち支援室などにもお声をかけ、学童保育やこども園の先生方、市役所の職員の方も45名参加し、総勢96名となりました。来年2月17日にはAngerでもお世話になっている千住真理子先生に性教育の研修をお願いしています。この研修会は保護者の皆様にもお声をかける予定にしています。

昨年度はコロナ禍と言うこともあり、思うように研修が開催できなかったのが役員会で話し合い、加入事業所のパンフレットを作成しました。新規の問い合わせの保護者の中には、豊中市に引っ越して来たばかりの方もいます。各都道府県、市町村によってはデイサービスや児童発達支援のあり方も様々で、どうやって探せば良いのか？引っ越しの手続きだけでなく、学校や保育園の手続きだけでも大変な中、育てにくさを持った子どもを抱えて生活をしながらでは簡単ではありません。そんな保護者からのご意見を以前から聞いていたので、このパンフレットが少しでも役に立てばと思い、豊中市のホームページにも載せていただいています。

今年の夏休みも全国各地で通所事業所の色々な事故が、ニュースで取り沙汰されていました。そのような記事を目にする度心が痛みます。当たり前のことですが、安全で安心して子どもたちが通所できる事、そして豊中市ではもう2度と起こらない事を強く願います。そのためにも事業所同士が連携を取り、困りごとを相談でき、切磋琢磨できる関係でいられる会でありたいと思っています。

郡 奈美

研修実施予定！申し込み受付中！

11/8(月) 子どもの発達的特徴心の育ちと 講師：宮本 郷子氏
大切にしたいこと(仮) (龍谷大学 特任教授)

↓申込みQR↓



「障がいの有無にかかわらず、遅い早い差はあっても、どの子ども共通の発達のみちすじを歩む」(前回の研修より) 研修を受けた方からの感想では、発達を知ることで、「そういえば…」と振り返ることができ、発達段階の違いによる関わり方や接し方が分かり安心した。「自分の子どもは今このぐらいの時期なんだ」や「今後こんなこともあるんだ」などの感想がありました。今回も、たくさんの気づきや学びがあると思います。是非ご参加ください。

作業所についてのお話です！

12/2(木) 卒業後の進路について(仮) 講師：神 富美子氏
(NPO法人すまいる 佳苑宮山事業所 管理者)

↓申込みQR↓



※外部の方など、どなたでも受講可能です。詳しくはお問い合わせください。

■場所: Anger(服部)又はzoom ■時間: AM10:00~ ■参加費: Anger保護者500円・外部の方1000円/1名
■申し込み・お問合せ: TEL(06) 6151-2996 Mail: kitamura@tokuyo.me 担当: 北村

~おやつのパンが新しくなりました~

毎日のAngerでのおやつ、子ども達は楽しみにしています。特に月2回のパンの日。このパンは作業所から購入しています。それは、子ども達の将来の進路となるかもしれない作業所との交流を深めること、自分たちもパンを作りたいなあという思いが生まれることを願ってのことです。実際、Angerの卒業生も作業所でパンを作っており、私たちもそのパンを購入できることを嬉しく感じています。大人の思惑は関係なく、子ども達はパンが大好き。たくさんの種類の中から、「これっ!」と決まっている子、スタッフから勧められて、違うパンに挑戦! 食べられるようになった子どももいます。皆、大口を開けてパクリ! とってもいい顔です。9月までパンを届けてくださっていた「豊泉家」と「明光ワークス」。長い間、本当にありがとうございました。10月からは「みずほおおぞら」と「海萌」にバトンタッチです。これからもよろしくお願いしま〜す。



パンおいしい〜♪



できあがり〜♪

どのスタンプにしようかな?

ハロウィンイベントにむけて、バッグの製作をしました。毎年、名作が生まれるのがこのハロウィン製作。今年もたくさん誕生しました! カボチャやオバケ型にハンコで目や口をつけてキャラクターにしていきます。スタッフが「このハンコは目でこれは口」と一通り説明しているときは「ふんふん…」と聞いているものの、いざ作り始めると子ども達には関係ないようです。ハンコをくるくるまわして口を目にしたり、目を口にしたり。型もオバケの型を回転させたり傾けたりと、組み合わせは無量大。1つ目のオバケでは口に使っていたハンコを、2つ目の時には目に使っているつわものもいました。他にも1つ、2つでは物足りなくいくつもキャラクターを作って台紙に詰めこむ人。型を貼った台紙に星やハートの飾りをちりばめるように貼る人。いろんな名作ができあがりました。ハロウィンイベントは10月の最終週。子どもたちがお家に持ち帰るのを楽しみにお待ちください。